

第5回世界のワイン講座

6月22日、6年ぶりに5回目の世界のワイン講座を開催することができました。ヴァルオー・ジャパン(株)の定時弘佳氏(ソムリエ)を講師にお迎えし、日曜日のお昼間にもかかわらずリピーターの方、新しく参加していただいた方を合わせて総勢30人余りにご参加いただきました。講師から世界各地のワインの特徴、種類、楽しみ方などを学び試飲をしました。エスペランサさんの演奏や、法人会員様からの数多くの協賛品で歓談タイムが大いに盛り上がりしました。



～協賛企業～
(株)稲美乳販 様
印南食品(株) 様
ダディーズベーカリー 様
三美塗装(株) 様



外国料理教室～ポーランド料理～

ポーランド出身のウーカシュさん慶子さんご夫妻にポーランド家庭料理を教えてもらいます。ポーランドのお話を聞いたり、北欧の味を楽しみませんか？

と き：2月1日(日)

9時15分受付(12時頃まで)

ところ：にじいろふぁーみんキッチンスタジオ

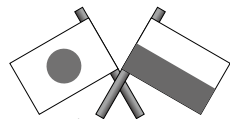
持ち物：エプロン・スリッパ・手拭きタオル

参加費：会員500円

非会員1500円

定 員：10名

※詳しくは追ってHPでお知らせします。



お詫びと訂正

2025年6月1日発行第65号のキッズカレッジ2024活動報告の記事において、「マレーシアから空手の勉強」と誤って記載されておりましたが、正しくは「柔道」です。読者の皆様ならびに関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

会 員 募 集

未来の稲美町の国際化に寄与し、国際交流事業への賛同をいただける方を募集しております。みなさまのご支援のもと様々な活動ができております。ご協力よろしくお願い致します。会員の方にはイベントの割引等があります。

※外国人に日本語を教えて下さるボランティアさんも募集しております。

【年会費】・個人 1口 1,000円
(小中高生500円)
・家族 1口 2,000円(同居)
・団体、法人 1口 5,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

令和7年度 団体・法人会員 (順不同)

播磨水産 国岡店・百丁場店

(株)アシス

赤松機器工業(株)

植田住地(株)

天満神社

木下製罐(株)

広田鉄工(株)

イナミスポーツ

サンライズ

兵庫南農協 天満支店

三美塗装工業(株)

上野鋼業(株)

(有)田中縫工所

インドネパールダイニングヴィレッジ

ダディーズベーカリー

(株)稲美乳販

英建設(有)

榎本建築設計事務所

木村建設工業(株)

藤永不動産(有)

但陽信用金庫稲美支店

兵庫大学 留学・国際交流センター

古谷産業(株)

(株)はた石材

タイヤの岡田

キング醸造(株)

稲美町シニアクラブ連合会

大善(株)

いなみ柔道クラブ心塾

(株)印南食品

クラウン商事(株)

沼田建具店

いなみマイマイ工房

ワタキューセイモア(株)

NOBBY FARM

稲美苑

編集後記

当協会の一大イベントであるふれあい交流「いなみ野の里」、今回も無事に終わることができました。留学生を受け入れて下さったホストファミリーの皆様、暑い中本当にありがとうございました。楽しんでいた様子が感想文から伝わってきました。今後も留学生との末永い交流が続きますように願っております。

御協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

【わーるどクイズ③の答え】②馬

馬の乳を発酵させてつくられたもので微量のアルコールを含み栄養価が高い。

国際交流通信

わーるど

年2回
6月・11月
発行

第66号

2025. 11. 1

ふれあい交流「いなみ野の里」2025

今年も大阪大学の留学生が稲美町にやってきました。新しくホストファミリーをしてくださった6家族を含め、10家族と10か国10名の留学生との4泊5日の様子を紹介します。



メリ
(インドネシア)



ミーナ
(イラン)



ガリーナ
(カザフスタン)



アイザック
(イギリス)



サン
(タイ)



ワレリア
(ロシア)



ハミド
(インド)



ディエゴ
(メキシコ)



サンスー
(モンゴル)



アルペル
(トルコ)

1日目 8月9日 歓迎会

よろしくお願いします

8月9日(土)稲美町役場コミセンホールにて歓迎会を行いました。稲美万葉太鼓会の皆さんによる太鼓の演奏と共に留学生が入場。いなっちと共に待っていたホストファミリー10家族とドキドキ、ワクワクのご対面に笑顔の花が咲きました。ホストからキャンディレイをかけてもらって手をつないで席に着き「今日から4泊5日お世話になります。よろしくお願いします。」「楽しい時間を過ごしましょう。」と会話が弾んでいました。



稲美中学校生徒会のみなさんが授業で作成した稲美町紹介MAPを留学生に持って来てくれました。

わーるどクイズ③：カザフスタンでは「クムス」という伝統的な飲み物がありますが、これは何の動物の乳から作られているでしょうか？ ①ラクダ ②馬 ③羊

答えは最終ページ右下にあります。

2日目 8月10日 ヘルス交流会&茶道体験

稲美町のヘルスの会の会員12名と日本料理を調理しながら交流を深めました。定番の肉じゃがをはじめ、味噌汁、おむすび、蒸しケーキなど5品を教えてくださいました。



日本語が流暢で説明しやすく、会話も弾み楽しく過ごせた。自国で日本料理が流行っていて、お箸の使い方もとても上手だった。

ずいぶん久しぶりの交流だったので緊張したが、学生は手際よく時間の余裕ができ充分な交流ができた。自炊していると聞いたので今回の料理を作ってくれたら嬉しい。

午後からは東播磨高校の茶道部、ESSのみなさんとの交流としてお茶会を開催しました。留学生たちは茶道部の皆さんのお手前を真剣に見学、お茶をいただき実際にお茶をたてる体験もしました。後半はESSの皆さんも交えて歓談。同世代とあって大いに話が盛り上がりみんなとても楽しそうでした。



茶道は単にお茶を飲むだけの行為ではなく、「相手を思いやる心」や「一瞬を大切にできる精神」が込められていることを改めて感じました。その心の部分はきっと世界中の人が共感できるものだと思います。

ESS部

簡単な言葉でも気持ちが伝わったときはうれしく、文化を超えた交流の面白さを実感しました。改めて茶道の込められた礼儀や人とのつながりの大切さを感じ、日本の文化の美しさを再認識しました。

茶道部

3日目 8月11日 ふれあい交流会

コミセンホールにて久しぶりにふれあい交流会を開催しました。留学生とホストファミリーが一堂に会し、食事をしながら歓談しました。その後一人ずつ自国の紹介をしてクイズを出題。大いに盛り上がりしました。



みんなで大団円です



歓談をしつつのお弁当はおいしい!!



母国の紹介をしてくださいました



色々な留学生とも交流を...



ロシアのマトリョーシカのキーホルダーを持ってきてくれました

5日目 8月13日 お別れ会



あっという間の4泊5日でした。一人ずつ感想を述べる留学生の中には涙溢れる場面もありました。日本の中の稲美町という小さな町で過ごした日々を覚えていてくれると嬉しいですね。そしてまたいつでも帰ってきてください。



～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

四方ファミリー

メキシコ人学生 ディエゴのホストファミリーをして

今回、大阪大学生ディエゴ19歳を受け入れてとても楽しい日々を過ごす事が出来ました。大学の留学生にもいろいろなコースがあるようですが、今年の試験に合格したら国立大学への切符が手に入るらしくとても勉強している様子。尚且つ頭が良く熱心にいろいろ質問してきて、人の話も良く聞いてくれるので主人は大喜びで彼に愛情深く接していました。

2日間フリータイムがあったので どこに行くか彼と考えて計画して、姫路の小豆ミュージアムと淡路島の瓦を作っている工場見学と瓦割り体験をしました。どちらも私達にとっては初めての場所で、彼のお陰で新しい体験が出来た事はとても嬉しく彼も楽しんでくれました。

出かけるだけではなく新聞で漢字や歴史の勉強して、はては経済、外交問題まで話は弾みました。

彼と接して思うには、遠いメキシコから日本の国立大学に入るためにやってくる意識の高い学生で 将来どんな人間になるのか非常に楽しみで、こんな素晴らしい学生と出会えさせてくれたのは、稲美町のふれあい交流に参加させていただいたお陰だと思いました。ありがとうございました。

私達はたくさんの学生のホストファミリーをしましたがあまく行く時もあればそうでない時もあります。なかなか気を合わせない学生もありましたし長く預かると若い学生は退屈になってしつくりいかならずお互い疲れて来ますが 稲美町のホームステイは4泊5日で長くなく短くなく、まるでお盆に孫が帰省したような日々。

ふれあい交流のスタッフにより手際良くホストファミリーと合流させていただき、適度に交流会、食事会も作って頂き楽しませていただきました。

来年も機会がありましたら是非参加したいのでよろしくお願いします。

ディエゴ(メキシコ)

ありがとうございました!

この交流を通して、普段はなかなか触れることのない風景を見ることができ、とてもうれしく思った。美味しい家庭料理を作ってくれたり、綺麗な場所を案内してくれたりしたホ



ストファミリーとたくさん話すことが出来、日本をより深く知ることが出来た。やってみようと思ったことや行ってみたい場所が増え、ワクワクが止まらない日々だった。メキシコを少しでも皆に紹介できて嬉しかったし、興味を持ってもらえたらすごく嬉しい!!皆、ありがとうございました。

井上ファミリー

アイザックと過ごした5日間

僕はアイザックと5日間、一緒に過ごしました。特に興味深かったのは、イギリスの気候、食文化、アニメです。イギリスでは毎朝、カリッカリのトーストを焼いて食べるそうで食べてみたくなりました。また、イギリスの気候は日本より夏は涼しく、冬は寒そうです。冬に雪がうすうす積もるそうで、とっても寒そうだなと思いました。これもまたびっくりしました。アニメでは、イギリスでもワンピースが見られると知って、とってもすごいなと思いました。また、イギリスのどの辺に住んでいるのかや、アイザックの家のペットも見せてもらいました。イギリスのことをいっぱい知れたり、一緒にコンチェルトに乗ったりた焼きをしたり、とっても楽しかったし興味深かったので、イギリスに行ってみたくまりました!!

アイザック(イギリス)

いなみ町

このホームステイはすごくよかった。たくさんやった。1日目にみんなとしゃべって、散歩をして、夜にタコパをやった。2日目に料理教室と茶道を体験した。高校生と交流して楽しかった。3日目にゲームをたくさんやった。午後に別の家でTeaTimeに参加して美味しい食べ物と飲み物を試した。すごろくをして負けてしまった。4日目に神戸市に行ってポートタワーに上っていい景色を見た。おしゃれな船に乗った。夜に初寿司を食べた。すごくおいしかった。日本の寿司の魚についてたくさん習った。結論として、全く楽しかった。



～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

高田ファミリー

コウノトリが運んだ絆

サンちゃんは、日本語が流ちょうで礼儀正しく、赤ちゃんが大好きな優しい子でした。娘をたくさん抱っこしてくれ、本当の妹のようにかわいがってくれました。一緒に日本食やモンゴル料理を作りながら、互いのことや文化について語り合い、笑顔の絶えない時間を過ごしました。田んぼを散歩すれば、青々とした稲や広い空を満喫し、稲美町の良さを味わってくれました。加古大池では、なんとコウノトリと遭遇。その幸運には私たちも驚きと喜びで胸がいっぱいでした。読書好きのおじいさんとは本の話で意気投合し、好きなものを分かち合えば国籍も世代も越えて心が通うことを実感しました。最終日、サンちゃんは「おじいさんは人生で一番素晴らしい人」と言ってくれ、その言葉に胸が熱くなりました。別れに際し、名前の漢字と再会の願いを込めたお守りを手渡し、「返納するから必ず高田家へ帰っておいで」と送り出しました。笑顔の再会を心から願っています。



サンスー (モンゴル)

感謝の言葉

稲美町に来られたことは、本当に良かったと感じております。ここでホームステイをさせていただく機会をくださった高田さん家族、そして稲美町のご担当の皆様にご心より感謝申し上げます。4日間という短い期間でしたが、多くの経験を積むことが出来たと思っています。日本に来て以来、一度も日本家庭を訪ねたことなかった私にとって、日常生活を間近で見て、文化や暮らしを学ぶことが出来たことは、大変貴重でありたい経験となりました。私のように都会よりも静かなところを好む人にとって、稲美町はとても穏やかで、暮らしやすい場所だと思いました。

赤松ファミリー

タイの留学生スマット君

今回は初めて妻が最初の2日間不在のため、私一人での受け入れとなりました。初日、自宅に向かう車中、わが家の田の稲穂を見ながら「水は大丈夫ですか?」と聞かれ、農業に興味を持ってくれたのがとてもうれしかったです。夕食は娘たちの応援もあり、手巻き寿司で話も弾み、彼との距離がグンと縮まりました。

2日目の夜は私と2人だけの夕食、数少ないレパートリーの焼き飯を2人で作り、彼がにっこり「非常においしかった!」と言ってくれて無事終了。3日目はやっと妻が合流し、ボウリングや翌日の買出しに行き、夕方歓迎会へ。自国の紹介で画像ありユーモアありのプレゼンは、とても印象に残り、稲美町で万博の気分を味わえた楽しい時間でした。フリーデイには姫路城を訪れ、夕方から親せきも集まり、バーベキュー、花火、すいか割りなどにぎやかな夜でした。

ホームステイ期間中は、居間で私たちとテレビを観ながらも、タブレットで我々日本人でもわからないような漢字を書いている姿には大変驚かされました。これから志望大学に入ると日本語の講義を受けることになるため勉強をしているそうです。

お別れ会の後、「来年進学先が決まったら真っ先に連絡します。」と言ってバスに乗り込んで行きました。その連絡が来るとき、彼との本当の交流の始まりになりそうな気がします。



サン (タイ)

僕の感想

素晴らしい経験だったと思います!短い時間でも、色々なアクティビティを楽しみました。それに、日本に来てからは一人暮らしなので、ホストファミリーと過ごす、家庭の気持ちが湧いて、華々しい時間になりました。もちろん、日本の文化に触れたいという1番の目的は完全に達成しました。そして、日本の家族の暖かさやタイとの違いも色々気付きました。またこういうホームステイがあったら、僕もまた参加したいです!

坂口ファミリー

とても貴重で楽しい経験

初めてのホストファミリー受け入れで、緊張や不安もありましたが、初日から笑顔あふれる時間を過ごすことができました。ちょうど盆踊りがあり、浴衣を着て一緒にお祭りに出かけたことが、とても良いスタートになりました。ガリーナちゃんは日本食が大好きだと聞き、すき焼きや手巻き寿司、蕎麦打ち体験やお好み焼き作りなど、さまざまな「日本の味」を一緒に楽しみました。食事の度に「美味しい!」と喜んでくれた姿が印象的で、私たちも嬉しくなりました。買い物や子供達とテレビゲームや花火など、家族の日常を共にし、わずか5日間でしたが、本当に家族の一員のように過ごすことができました。子供達も「お姉ちゃんができたみたい!」と、とても楽しそうに遊んでいたのが微笑ましかったです。別れのときは涙があふれてしまいましたが、感謝の気持ちを伝え合い、これからも連絡を取り合いながら、必ずまた再会したいと思っています。



ガリーナ (カザフスタン)

貴重な日々

稲美町での5日間は、予想を大きく上回る充実した日々でした。茶道体験や日本料理作りや外国紹介などの活動を通して多くの学びと交流があり、心地よい疲れの中で毎晩ぐっすり眠れました。家庭で過ごし、家族のようにもてなしてくださった優しさに心から感動して日本文化への愛情が一層深まりました。帰国する前にこの貴重な体験ができて本当によかったと思います。稲美町の美しい風景と暖かな人々の笑顔は、心にずっと残ります。

田中ファミリー

初めてのホストファミリー

5日間色々な場所へ出かけました。稲美町のお店や田畑、営農経済センターへ見学にも行き、とても興味深そうな姿を見て嬉しく、稲美町の良さを改めて感じる事ができました。

メリちゃんの好きな日本食を作り、インドネシア料理も教わりながら、皆で料理をしご飯を囲んでインドネシアでの生活や色々な話を聞くことが出来ました。異なる文化を知り、温かい時間を一緒に過ごすことができました。

初めてのホストファミリーで心配もありましたが、頂いたお手紙に「留学間で一番最高!」と書いてあり、とても嬉しかったです。私たち家族にとっても心に残る素晴らしい思い出と本や旅行では学べない貴重な経験となりました。

これからも素敵な夢に向かって頑張っているメリちゃんを応援し、交流を続けていきたいと思います。ありがとうございました。



メリ (インドネシア)

家族はこんな感じ!

4日目は1日中家族と過ごしました。朝ごはんの後、ゆっくりドラえもん映画を見ました。その後は皆と一緒にピザを作りました。たのしかったし、お腹がすくいっぱいでした。その後、チップスを食べながら、ボードゲームをしました。急におじいさんが来て、一緒に畑に行き、色々なことを説明してくれました。そして、あちこちも連れて行きました。お米のところから和菓子屋まで行きました。1日中楽しかったです。家族がいるからです!

藤田ファミリー

昨年に続き今年も留学生を受け入れることになりました。今年はイランのミーナちゃん。

孫達は異国のお姉ちゃんが来る事を待ちわびていました。ミーナちゃんは、日本語と日本文化を学びたいという事です。受け入れたその日に琴池自治会の夏祭りに行き、ビンゴゲームでビンゴを出して喜んでいました。その後に稲美松涛館で小学生上級者の空手の稽古があり見学しました。小学生と言えども上級者なのでそこそこ迫力ある稽古で、後で感想を聞いたら、鼻血を出したのに泣かずに稽古を続けていた子どもに関心していました。近くの史跡も覚えて欲しいと思い国安天満神社を案内した後に家で秋祭りの録画を見ました。農業も関心があるみたいで、わが家の田んぼで米の品種や成長具合まで質問を受けました。家では家事など手伝いしてくれて、5日ではあまりにも短く感じます。また今後、わが家に気兼ねなく来てもらえる事を期待します。



ミーナ (イラン)

ホストと過ごした時間

この5日間でホストは様々な場所へ連れて行ってもらい、日本文化についても色々説明してくれました。おかげで、ホストと過ごした時間は非常に楽しく、勉強にもなりました。また、日本人は本当に見返りを求めず、お互いのため、家族のため、国のために一生懸命頑張っているのだとわかりました。このプログラムは、これからもっと日本語を頑張りたいと思うきっかけになって、いつか日本語をペラペラ話せるようになったとき稲美町に来ます。

船原ファミリー

私たちは、この夏休み、ロシアのレウちゃんとお会いしました。初めて会うときは緊張したけど、たくさん話をして、たくさん遊んで、たくさん食べている間にすごく仲良くなりました。特に話をたくさんしたことが思い出に残っています。「日本では夏祭りに焼きそばやフランクフルト、かき氷を食べるんだよ」、「日本の部活はこんな感じだよ」などと、日本のことをたくさん話しました。また、ロシアのこともたくさん聞きました。最初はロシアの文化や食べるものなど、全然知らないことだらけだったけど、5日間ずっと一緒に過ごして、まだまだ少しかもしれないけど、ロシアのことを知ることが出来ました。私たちは普段、あまり外国のことは考えず、自分の国のことばかり考えています。外国の人たちのことは、違う世界の人間だと思ってしまっているかもしれません。ですが、この夏休み留学生と一緒に過ごしてみて、日本人とたくさん共通点があることに気づきました。おいしいものを食べて、おいしいなと笑顔で笑って、ジェットコースターに乗ってヒヤヒヤして、姫路城を見てきれいだなと感動して、みんな同じ人間なんだと思いました。最近、違う国同士の違いがたくさんおきています。でも、みんなが同じ人間だから、認め合い助け合い理解合ってほしいと、このホームステイを通して感じました。



ワレリア (ロシア)

楽しい5日間—船原家でのホームステイ

最初はとても緊張して、失礼にならないか、礼儀作法の細かいところが分からないこともありました。でもすぐに仲良くなって、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。妹の絢子さんと姉の愛美さんはとてもやさしくて、一緒にいて本当に楽しかったです。お父さんとお母さんは私のことを気遣ってくださり、色々な面白い場所に連れて行ってくださいました。本当に感謝しています。日本の家庭の文化や生活に触れることができてとても貴重な経験になりました。

